

| | | | | | | |
|-------------------------|----------------------|---------------------|--|-------|--------|-------------------------|
| 事業番号 | 09 06 02 | 事業改善シート (30年度実施事業分) | <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検 | | | |
| 事業名 | 担い手が農地を有効活用するための事業 | | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農村振興課 |
| | | | 実施期間 | S45 ~ | E-mail | noson@pref.nagano.lg.jp |
| 総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0) | | | | | | |
| 8つの重点目標 | | | | | | |
| 総合的に展開する重点政策 | 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 | | | | | |

1 事業の概要

| | | | |
|---------------|--|-------------|------------|
| 現状 (予算編成時) | ○農業生産を担う基幹的農業従事者の高齢化(65歳以上が71.7%)による離農、規模縮小とともに全体の農家数も減少傾向にあるため、地域農業の担い手の確保・育成と農地の有効活用が重要な課題となっている。 ○平成28年度末で法人化した経営体は958法人、担い手への農地集積率は39%となっている。 | 30年度 決算額 | 298,426 千円 |
| 目指す姿 | ○担い手が法人化等により企業的経営を実践し、本県の農地の大部分を活用することにより地域農業の維持・発展を目指す。 ○地域農業の担い手となる農業法人数を平成30年度までに1000法人とするとともに、担い手へ全農地の42%を集積することを目指す。 (主な実施内容: 県農業開発公社や市町村等の農地集積事業や企業的経営体育成事業に取り組む団体への支援 など) | 職員数 | 8.90 人 |

| 事業 コスト | 区分(単位:千円) | | | | 指標及びその達成状況 | | | | | |
|---------------|---------------|----------|----------|---------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|
| | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | | No | 成果指標 | 29年度 | 30年度 | | |
| 予算額 | 前年度繰越 | | | | | | | 目標値 | 成果 | 達成状況 |
| | 当初予算 | 637,253 | 594,612 | 495,633 | | | | | | |
| | 補正予算 | -294,591 | -288,242 | | | | | | | |
| | 合計(A) | 342,662 | 306,370 | 495,633 | ① | 経営を法人化した経営体数 | 1,005法人 | 1,000法人 | 1,001法人 | 達成 |
| Aの財源 | 一般財源 | 100,993 | 111,760 | 79,623 | ② | 中核的農業経営体の数 | 9,372 経営体 | 9,200 経営体 | 9,707 経営体 | 達成 |
| | 県債 | | | | ③ | 担い手への農地集積率 | 40% | 42% | 41% | 未達成 |
| | 国庫支出金 | 63,941 | 100,488 | 64,132 | ④ | 荒廃農地解消面積 | 698ha/年 | 1,000ha/年 | 1,295ha/年 | 達成 |
| | その他 | 177,728 | 94,122 | 351,878 | | | | | | |
| ト | 決算額(B) | 321,492 | 298,426 | | | | | | | |
| 概算 人員 費 | 職員数(人) | 11.30 | 8.90 | 8.40 | | | | | | |
| | 概算人件費(C) | 91,553 | 73,140 | 69,031 | | | | | | |
| | 概算事業費(B(A)+C) | 413,045 | 371,566 | 564,664 | | | | | | |

| | |
|----|---|
| 備考 | ① 法人経営体の育成により、経営継承による営農の継続、経営発展等を図るため、「経営を法人化した経営体数」を成果指標に設定 ② 将来にわたり農業生産を維持・発展させるため、次代を担い、本県農業を支える経営体となる「中核的農業経営体の数」を成果指標に設定 ③ 中核的経営体(担い手)が農地の利用集積により作業の効率化、低コスト化を実現するため、「担い手への農地集積率」を成果指標に設定 ④ 農地の有効活用を図るため、再生可能な荒廃農地の再生を進める「荒廃農地解消面積」を成果指標に設定 ※H30年度から新たに非農地判断分を含める |
|----|---|

| | |
|-------------|--|
| 目標に対する成果の状況 | ① 経営を法人化した経営体数は、農業経営体に対する担い手育成総合支援事業等の取組により、目標を達成した。 ② 担い手育成総合支援事業等により認定農業者の確保・育成に取り組んだ結果、目標値を上回った。 ③ 農地中間管理機構事業や農地有効利用支援事業等の支援により約1,000haの農地が新たに担い手に集積されたが、年度目標には届かなかった(達成率97.6%)。 ④ 「荒廃農地解消面積」は、遊休農地活用総合対策等の取組により、目標を上回り達成した。 |
|-------------|--|

2 今後の事業の方向性

| 今後、事業をどのようにしていきたいか | <input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 | | | | |
|--|--|----|--------|--|---|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業生産を担う基幹的農業従事者の高齢化による離農、規模縮小とともに全体の農家数も減少傾向にあるため、更なる地域農業の担い手の確保・育成と農地の担い手への集積・集約が重要な課題。</td> <td>農地中間管理機構事業等現在の取組を引き続き進めるとともに、新たに人・農地プランの実質化の取組への支援等を行い、担い手への農地集積を加速化し、本県の農地有効活用を図り、力強い農業構造の構築を推進する。</td> </tr> </tbody> </table> | 課題 | 今後の方向性 | 農業生産を担う基幹的農業従事者の高齢化による離農、規模縮小とともに全体の農家数も減少傾向にあるため、更なる地域農業の担い手の確保・育成と農地の担い手への集積・集約が重要な課題。 | 農地中間管理機構事業等現在の取組を引き続き進めるとともに、新たに人・農地プランの実質化の取組への支援等を行い、担い手への農地集積を加速化し、本県の農地有効活用を図り、力強い農業構造の構築を推進する。 |
| 課題 | 今後の方向性 | | | | |
| 農業生産を担う基幹的農業従事者の高齢化による離農、規模縮小とともに全体の農家数も減少傾向にあるため、更なる地域農業の担い手の確保・育成と農地の担い手への集積・集約が重要な課題。 | 農地中間管理機構事業等現在の取組を引き続き進めるとともに、新たに人・農地プランの実質化の取組への支援等を行い、担い手への農地集積を加速化し、本県の農地有効活用を図り、力強い農業構造の構築を推進する。 | | | | |

3 事業を構成する細事業の内容

| No | プロジェクトNo | 細事業名 | 30年度 実施内容(実績) | 職員数(人) | 平成30年度 | | 令和元年度(当初) |
|----|----------|------------------|--|--------|---------|---------|-----------|
| | | | | | (当初) | (決算) | |
| 1 | | 遊休農地活用総合対策事業 | 農業者等が行う遊休農地の再生・活用の取組に対して補助 | 2.00 | 51,620 | 22,730 | 1,500 |
| 2 | | 人・農地プラン総合対策事業 | 市町村が行う人・農地プランの実践経費、見直し等を支援する推進員設置費を補助 | 2.20 | 4,264 | 3,007 | 4,453 |
| 3 | | 農地有効利用支援事業 | 市町村農業委員会が行う農地相談や農地集積研修会等経費及び県農業会議が行う市町村農業委員会に対する助言活動・研修会経費を補助 | 0.30 | 22,230 | 11,103 | 21,706 |
| 4 | | 担い手育成総合支援事業 | 県農業再生協議会へ認定農業者等の経営能力向上・改善指導を委託・補助 | 0.30 | 20,361 | 17,923 | 31,449 |
| 5 | | 農地中間管理機構事業 | (公財)長野県農業開発公社が行う農地の貸借事業の必要経費を補助 | 3.50 | 418,170 | 166,468 | 387,998 |
| 6 | | 農地売買支援事業 | (公財)長野県農業開発公社が行う農地の売買事業の必要経費を補助 | 0.10 | 41,952 | 41,373 | 48,527 |
| 7 | | 中山間地域農地集積加速化支援事業 | 中山間地域等において農地所有者の負担を軽減することで基盤整備を進め、活用可能な農地として担い手への集積・集約化を行う取組に対して補助 | 0.50 | 36,015 | 35,822 | 0 |
| 合計 | | | | 8.90 | 594,612 | 298,426 | 495,633 |

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

| 事業番号 | 事業名 | 担い手が農地を有効活用するための事業 | | | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農村振興課 | | | |
|----------|---------------|--------------------|-----------|--|---|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|
| 細事業No | 細事業名 | 項目 | 実施方法 | 30年度 実施内容（予定） | 30年度 実施内容（実績） | 30年度 実施状況 | 29年度 | 30年度 | | | |
| | | | | | | | 当初（千円） | 要求（千円） | 当初（千円） | 補正（千円） | 決算（千円） |
| 09 06 02 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 遊休農地活用総合対策事業 | 遊休農地解消・活用推進事業 | 直接 | 研修会、シンポジウム、功績者表彰の実施経費 | 遊休農地活用シンポジウム・功績者表彰の実施（1回） | 計画通り ○ | 1,300 | 1,100 | 1,100 | | 363 |
| 1 | 遊休農地活用総合対策事業 | 棚田地域遊休農地解消支援事業 | 補助金 | 再生農地が持続的に活用されるよう消費者等と連携した地域での取組活動に要する経費 補助先（農業者等） | 地域からの要望がなかったため、未実施 | 未実施 × | 680 | 520 | 520 | -520 | 0 |
| 1 | 遊休農地活用総合対策事業 | 荒廃農地等利活用促進交付金 | 補助金 | 再生作業、営農機械導入、施設整備に要する経費 補助先（農業者等） | 認定農業者等が実施する、発生防止作業1地区、再生作業26地区、営農定着2地区、施設補完整備7地区への補助を実施 補助先：農業者等 | 計画通り ○ | 50,000 | 50,000 | 50,000 | -25,800 | 22,367 |
| 2 | 人・農地プラン総合対策事業 | 人・農地プラン推進事業 | 補助金・直接補助金 | 人・農地プラン実践に係る経費及び見直し等を支援する地域連携推進員の設置費等 補助先（市町村） | 人・農地プラン推進に係る取組の経費支援を行った。 補助先：18市町村 | 計画通り ○ | 10,100 | 2,735 | 2,735 | | 2,108 |
| 2 | 人・農地プラン総合対策事業 | 農業経営力向上支援事業 | | - | - | - | 9,800 | - | - | | - |
| 2 | 人・農地プラン総合対策事業 | 経常経費 | 直接 | 人・農地プランの推進に要する経費 | より効果的な人・農地プランを作成するためのモデル地区設置などに取り組んだ。 | 計画通り ○ | 1,529 | 1,529 | 1,529 | | 899 |
| 3 | 農地有効利用支援事業 | 農地有効利用支援事業 | 補助金 | 市町村農業委員会が行う農地相談員の設置費、農地集積等に関する農業委員の研修に関する経費 補助先（市町村農業委員会） | 農地相談員の設置などに取り組んだ市町村農業委員会の活動を支援した。 補助先：11市町村農業委員会 | 計画通り ○ | 6,893 | 6,430 | 6,430 | -4,096 | 2,334 |
| 3 | 農地有効利用支援事業 | 広域的農地利用調整活動支援事業 | 補助金 | 県農業会議が行う市町村農業委員会への助言活動や農地法等の研修に関する経費 補助先（（一社）長野県農業会議） | 市町村農業委員等を対象とした研修会の開催（9回）や、農地情報の収集・整理・市町村からの相談対応（309件対応）などに取り組んだ。 補助先：（一社）長野県農業会議 | 計画通り ○ | 10,200 | 15,800 | 15,800 | -7,031 | 8,769 |
| 4 | 担い手育成総合支援事業 | 担い手育成支援事業 | 補助金 | 認定農業者の経営能力向上・改善指導 補助先（長野県農業再生協議会） | 認定農業者等を対象とした農業経営管理能力向上セミナーの開催（3回）や、経営コンサルタント等の派遣（18回）などの取組に支援等を行った。 補助先：長野県農業再生協議会 | 計画通り ○ | 10,450 | 10,450 | 10,450 | | 10,450 |
| 4 | 担い手育成総合支援事業 | 農業経営者総合サポート事業 | 補助金 | 意欲ある農業者に対する経営相談体制の整備及び支援に係る経費 補助先（長野県農業再生協議会） | 農業者118経営体に対する経営相談や、24経営体（延44回）への専門家派遣の取組に経費支援を行った。 補助先：長野県再生協議会 | 計画通り ○ | 0 | 9,911 | 9,911 | -2,411 | 7,473 |
| 5 | 農地中間管理機構事業 | 農地中間管理事業機構事業補助金 | 補助金 | 農地中間管理機構が行う農地管理・保全、賃借料支払い及び業務推進のための経費 補助先（（公財）長野県農業開発公社） | 農地中間管理機構が行う農地管理・保全、賃借料支払い及び業務推進の支援を行った。 補助先：（公財）長野県農業開発公社 | 計画通り ○ | 155,374 | 147,970 | 141,070 | -9,884 | 129,872 |
| 5 | 農地中間管理機構事業 | 県機構事業推進費 | 直接 | 農地中間管理事業の推進に要する事務費 | 農地中間管理事業推進に要した消耗品代等 | 計画通り ○ | 1,702 | 1,600 | 1,600 | | 866 |
| 5 | 農地中間管理機構事業 | 機構集積協力金 | 補助金 | 農地中間管理事業に協力した者に対して協力金を交付 補助先（市町村） | 農地中間管理事業に協力した地域あるいは個人に、機構集積協力金を交付した。 補助先：34市町村 | 計画未済 △ | 312,500 | 275,500 | 275,500 | -238,500 | 35,730 |
| 6 | 農地売買支援事業 | 事業費 | 補助金 | 県農業開発公社の農地の買入に要する資金の利子助成 補助先（（公財）長野県農業開発公社） | 県農業開発公社の農地の買入に要する資金の利子助成の支援を行った。 補助先：（公財）長野県農業開発公社 | 計画通り ○ | 478 | 380 | 380 | | 211 |
| 6 | 農地売買支援事業 | 業務費 | 補助金 | 県農業開発公社の農地の売買事業に係る業務等に要する経費助成 補助先（（公財）長野県農業開発公社） | 県農業開発公社の農地の売買事業に係る業務等に要する経費の支援を行った。 補助先：（公財）長野県農業開発公社 | 計画通り ○ | 41,132 | 41,082 | 41,082 | | 41,082 |
| 6 | 農地売買支援事業 | 県事務費 | 直接 | 農地売買促進に要する経費 | 農地売買促進に要した消耗品代等 | 計画通り ○ | 490 | 490 | 490 | | 80 |

| 事業番号 | 事業名 | 担い手が農地を有効活用するための事業 | | | | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農村振興課 | | | |
|-----------|------------------|--------------------|----------|---|---|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------|
| 細事業 No | 細事業名 | 項目 | 実施 方法 | 30年度 実施内容（予定） | 30年度 実施内容（実績） | 30年度 実施 状況 | 29年度 | 30年度 | | | | |
| | | | | | | | 当初 （千円） | 要求 （千円） | 当初 （千円） | 補正 （千円） | 決算 （千円） | |
| 7 | 中山間地域農地集積加速化支援事業 | 農業再生ビジョン作成事業 | 補助金 | 農地の集積・集約化方法、作付作物、販売戦略及び基盤整備計画をまとめた地域計画の作成に要する経費補助先（市町村） | ・農業再生ビジョンは町村が単独で作成 ・会議出席に係る必要経費を負担 | 計画未満 △ | 400 | 200 | 200 | | 7 | |
| 7 | 中山間地域農地集積加速化支援事業 | 農地集積集約化支援事業 | 補助金 | 中山間地域等において基盤整備を実施する際に市町村が地元負担金を全額負担する場合に、その1/2を支援補助先（市町村） | 中山間地域における農業基盤整備事業5地区を対象として補助を実施 補助先：1町2村 | 計画通り ○ | 24,225 | 37,150 | 35,815 | | 35,815 | |
| 合 計 | | | | | | | | 637,253 | 602,847 | 594,612 | -288,242 | 298,426 |